

# 名家連ニュース

令和3年12月13日(月)  
発行：特定非営利活動法人  
名古屋市精神障害者家族会連合会  
会長 堀田 明  
TEL/FAX(052)846-5576 NO.840号

## ◆ 愛知県立大学で特別講義 ◆

令和3年11月25日(木)、愛知県立大学の山田浩雅先生の要請を受けて、精神看護方法論「精神障がいを持つ方と家族の体験および患者会・家族会活動について」と題して、約90名の看護学部の学生へ特別講義を行いました。90分授業の中で、当事者のいとうゆかさんと家族の広瀬が話をしました。

いとうさんは、病気と付き合いつつ、看護師としての就労、結婚、出産を経験されてこられたお話をなさいました。現在、週一回グループホームで働きながら、ピアサポート活動をされています。

私は、山田先生から示された10項目に従って話をしました。『病気と言われたとき、親としてどのような気持ちだったか』妻は泣いていたが、私は会社でそのような例を見てきていたので、今まで通りで良いと思った。子供のせいにしてやりたいことをやらないようにはしたくないと思った。『病気がご家族に影響したこと』今は、夫婦喧嘩をしないようにしている。『看護職者および看護学生に望むこと』元中日ドラゴンズの大島康徳さんが、「がん」だと知って、遠ざかっていった。普通に接して欲しい。という言葉が響いた。というような話をしました。このような機会を設けて下さった山田先生に感謝いたします。

なお、名家連は毎年、延べ約20人が大学、専門学校、社会福祉協議会から講師派遣の依頼を受けて活動を行っています。

いとうさんが、ピアサポート活動をより多くの人に知って欲しいが、宣伝の機会が少ないとおっしゃっていたので、皆さんの活動をできるだけ名家連ニュースで紹介していきたいと思います。自薦他薦を問いませんので、名家連までメール(meikaren@movie.ocn.ne.jp)でお知らせいただければ幸いです。(担当 広瀬)



## 子育てピアサポートグループ のどか(ゆらいく名古屋)

<https://nodoka-yuraiku-nagoya.jimdosite.com/>



私は双極性障害があり4歳の子どもの育児中です。精神病を持ちながらの子育ては病気からくる子育ての相談先や話題にできる場がなく孤独でした。そんな中で安心して話せる場所と人がいたらもっと楽になると思い活動を始めました。精神疾患のあるママとパパのおしゃべりの場『のどか子育てカフェ』を開催しています。『ひとりではないことに気づいて安心して話せる場』『気持ちや情報を大切にしたい分かち合いの場』『妊活や妊娠・育児をしていくためのパワーチャージの場』を目指しています。カフェでゆっくりおしゃべりするような気楽に話せる場です。不定期ですが栄で開催しています。詳しくはホームページをご覧ください。子育ては当事者だけでなく家族の理解と協力も大切な為、今回名家連ニュースで家族の方にも活動を知って頂く機会をいただき感謝しています。お問合せはメールでお待ちしています。n.yuraiku@gmail.com(代表いとう)